

成果の説明書

(氏名) 塩澤康平	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>・ 科研費（研究活動スタート支援）「顕示選好理論を用いた統計モデリングの研究」について、消費者異質性の顕示選好理論的な分析手法の研究を実施した。シミュレーション実験により、データを生成した効用関数があるクラスに属する場合、従来一般的な分析手法では過度な一般化となり、その有用性に疑問があることを明らかにした。</p> <p>・ 効用最大化モデルに基づく経済実験に関するデータ分析手法について、共同研究を実施した。シミュレーション実験により、従来の分析手法では不適切な場合があることを明らかにした。また、新たな分析手法を構築し、シミュレーションデータと先行研究の実験データに適用することで、その妥当性と有効性を検証した。</p> <p>・ その他、公共財供給メカニズムの効率性に関する共同論文を改訂した。また、一般均衡モデルの理論的な分析に関する共同研究を実施し、論文としてまとめた。</p>	
2 その他の事項	
<p>・ 高等学校での出前授業を実施した（栃木県佐野市、2019年6月）</p> <p>・ 本学経済学部経済学会の研究会において研究報告を実施した（2019年7月）</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>上記の研究成果の取りまとめを行う。また、経済実験のデータ分析手法に関する研究を推進する。特に、効用最大化モデルに基づく実験とそのデータ分析手法についての研究を継続し、様々な環境における選好の分析手法の確立と、その振る舞いに関する知見の蓄積を図る。また、その他の共同研究についても引き続き継続する。</p>	